

I 学校経営 第2分科会「組織・運営」の運営概要

【研究課題】 学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方

【研究の視点】

- 1) 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築
- 2) 活力ある運営を実現するための組織の活性化

I. 分科会研究協議の運営計画

(リーダーシップの視点1について)

学校組織が活力をもって機能するためには、校長のリーダーシップの下、明確な「学校経営ビジョン」を提示することが大切である。それは、校長が信念に基づいた子どもたちを育てるという決意表明であり、到達目標に向けての中期・短期のシナリオである。しかし、その「学校経営ビジョン」の実現に向けて、教職員にどのように共通認識をもたせ、どう浸透させていくかを考えなくてはならない。学校組織の中でビジョンを共有させるためには、教職員自身の成長と目標の達成の度合いに応じて、評価・改善を加えていく組織の構築が望まれる。そうした運営組織の実現のために、組織内に「知の共有化」を根付かせなければならない。そのための経営戦略について究明していく。

- ① 組織目標の達成のための明確な「学校経営ビジョン」の構築と共有 (チーム学校)
- ② 組織内で機能的に関与し合い、目標を達成しながら協働の中で教職員が育っていく組織の構成

- ・子どもの育ちをとらえ将来を見据えた持続可能な「学校経営ビジョン」の在り方
→ 学校教育目標と、学年学級経営・分掌をつなぐものとしての意識化
- ・協働の中で教職員が育つ学校組織の在り方。参画意識と自己評価・人事評価の関連性
→ 「学校経営ビジョン」の共有と、組織目標達成のための連携・補完

【話し合いのためのキーワード】

学校教育目標 目標管理 (個人目標→組織目標) チーム学校 PDCA 学校職員人事評価制度
参画意識 人材配置 適材適所 共有 連携 補完 協働 役割 自己評価 人事評価

(リーダーシップの視点2について)

組織の活性化が、活力ある学校運営を可能にしていく。そのために効果的な学校組織マネジメントのもと、個々の職員の参画意識と同時に、協働の実感の中で職員一人一人の力量そのものを高めていくことが求められる。学校課題を的確に捉え、学校目標の具現化のための校長のリーダーシップとはどうあるべきか。さらにはミドルリーダーの具体的な役割を明らかにし、その育成を考えていくことを考えていきたい。改めて組織が活性化していくための必要な要件を明らかにしていく。

- ① 組織活性化のための教職員の意識改革
- ② 職員一人一人の適性に応じた役割の明確化と人材育成

- ・組織活性化のための意思疎通や情報交流、研修の在り方 (チャレンジ精神の喚起)
→ 経営ビジョン共有に向けた教職員との有効なコミュニケーションの確立
- ・協働の意識化とミドルリーダーの育成
→ 個々の役割の明確化、学校組織における人材育成の立場の一層の明確化

【話し合いのためのキーワード】

ミドルリーダー 参画意識 組織力 学校力 組織文化 キャリア・マネジメント
トップダウン ミドルアップダウン ボトムアップ 情報共有 面談 人材育成 OJT

Ⅱ. これまでの成果と課題 ～十勝大会から～

- ① 明確な経営ビジョンと学校経営上の強力な一工夫の必要
 - ・・・校長の綿密な計画と強い信念
- ② 機能的・共同的な組織のために、教職員個々に明確な役割と有用感を
 - ・・・個人の成長と組織の成果を同時に実現する働き掛け
- ③ 意義ある変革のプロセスの持続、日々の言動にプラスの言葉を習慣化し、伝達・浸透を心掛ける
 - ・・・進行管理と、苦しい局面を乗り切る「意志の力」

Ⅲ. 研究発表の概要

(1) 研究発表者 後志地区 古平町立古平小学校 校長 中田 恭太郎

(2) 発表題 「経営ビジョンの実現に向けた組織づくりと活性化を進める校長の在り方」
～後志小中学校長会の研究3年計画3年次(成果と課題のまとめ)から～

(3) 発表の趣旨

- ①後志管内すべてで計画・実践している「後志学校教育プラン」に基づいた「未来を拓く、豊かで確かな学びを創造する学校教育の推進」のための取組についての経営実践
 - ・取組そのものを学校組織的なものに高めた経営実践例
 - ・PDCA サイクルを機能させ、前向きに即時評価に結び付けた経営実践例
- ②学校運営組織の構築や活性化のためのミドルリーダーの育成・活用について
 - ・学校評価への関与促進から構成職員一人一人のレベルアップを
 - ・共通の志向性のもと、意欲的に取り組む活力ある組織づくりの探求を

Ⅳ. 協議の流れ

- (1) 開会、挨拶、名刺交換 (15分)
- (2) 趣旨説明 (10分) 余市町立 大川小学校 島 知 章 校長
 - ・研究協議・趣旨・研究の視点等について
- (3) 研究発表 (20分) 古平町立 古平小学校 中田 恭太郎 校長
 - ・プロジェクトによるプレゼンテーション
- (4) 情報交流・質疑応答 (20分)
～ 休憩 ～
- (5) 研究協議① (60分)
研究発表と自校での現状についてグループ内交流
～ 休憩 ～
- (6) 研究協議② (30分)
グループからの発表
全体討論
- (7) まとめ (20分) 余市町立 大川小学校 島 知 章 校長

*分科会参加の皆様、当日のグループ交流・全体協議に向けてよろしくお願いいたします。

*当日のグループは、運営のほうで事前に編成させていただきます。(「組織・運営」部会という性格上、学校規模に合わせ1グループ6名程度です。全8グループとなります。)

*グループ内での司会・記録も事前をお願いしようと考えています。依頼があった際には、快くお引き受けください。

*グループ内では名刺交換の場を考えております。名刺をご用意ください。

*各学校の校長の経営方針に基づいた組織活性化の工夫(分掌構成)をグループ内で交流したいと考えております。A4版1枚程度にまとめた形で10部をご用意いただきますようお願いいたします。